

市議会 自治基本問題調査特別委員会からの意見を受けての検討1:前文

検討No.	整理 番号	項目	提案 箇所	会派	市議会からの意見	現在の提言書(素案)	市議会の意見に対する 市民会議の対応(案)	左記の考え方 ※
1	前文	—	案文	統一意見	・ 「共生」は上越市の自治を考える上で重要なキーワードである。「共生」の言葉を文章に入れるべきと考える。	上越地域は、日本海、頸城の山々と大地がもたらす四季折々の恵みを受け、細やかな人の心と文化をはぐくみながら、多様な歴史を刻み、栄えてきました。	上越地域は、日本海、頸城の山々と大地がもたらす四季折々の恵みを受け、細やかな人の心と文化をはぐくみながら、多様な歴史を刻み、栄えてきました。	A. 「共生」は、上越市の自治を考える上で重要なキーワードであるので記述する。 （現在の前文にも同様の考え方が謳われているが、その考え方を強調する意味合いで「共生」の文字も記載する。）
				統一意見	・ 3行目の「しかし」を別の表現にすべきである。接続詞として不適切ではないか。	しかし、近年の少子化・高齢化の急速な進展と地方分権時代の到来は、私たちに最も身近な自治体と、そこでの自治の在り方を今一度考える契機となりました。	こうしたなか、近年の少子化・高齢化の急速な進展と地方分権時代の到来は、私たちに最も身近な自治体と、そこでの自治の在り方を今一度考える契機となりました。	A. 提案のとおり、修正する。 （文章の流れとして、前の段落を受けて、条例制定の背景を示していることから、時間の経過を感じさせる言葉として「こうしたなか」に改める。）
					・ 少し長いが簡潔にまとめられている。			
				政新	・ 条例制定の宣言についてはインパクトが弱い。	私たちは、地方分権時代の幕開けを地域が新たに飛躍する機会ととらえて、「豊かさ、安らぎ、快適な生活を市民が支えあう自主自立のまちづくり」という基本理念の下、平成17年1月1日、新しい上越市を出発させました。	私たちは、地方分権時代の幕開けを地域が新たに飛躍する機会ととらえて、「豊かさ、安らぎ、快適な生活を市民が支えあう自主自立のまちづくり」という基本理念の下、平成17年1月1日、新しい上越市を出発させました。	C. 提言書(素案)のとおりとする。 （現在の文章には十分思いがこもっていると考える。）
					・ シンプルな表現になっていて良い。			
				共産党議員団（委員会時の発言）	・ 声を出して読んでもいいような響きのいい文章にしていきたい。	新しい上越市のまちづくりにおいて、私たちは、この地域の人々が築き上げてきた歴史や文化、海・山・大地の恵まれた自然などの多様な地域資源を大切に	新しい上越市のまちづくりにおいて、私たちは、この地域の人々が築き上げてきた歴史や文化、海・山・大地の恵まれた自然などの多様な地域資源を大切に	B. 提案の主旨を踏まえ、修正する。 （今回の議会からの提案により修正を行った結果、十分なものになったと考える。）
				共産党議員団	・ 上越市らしさを表現するため、歴史上の人物を入れるか、合併の記述に「地域自治区」や「地域協議会」を入れていくことが望ましい。	て、人と人、地域と地域が互いに支え合いながら、自らの手でまちをつくり上げ、次の世代に引き継いでいかなければなりません。	、「共生」の考え方により人と人、地域と地域が互いに支えあいながら、自らの手でまちをつくり上げ、次の世代に引き継いでいかなければなりません。	C. 提言書(素案)のとおりとする。 （上越市らしさは、条例の内容全般で示されていると考える。）
				市民クラブ	・ 14市町村による合併により誕生したこと並びに市民主権・市民自治に基づく新たな自治の出発であることを文章にする必要がある。	そのためには、私たち一人ひとりが、人と郷土を愛する心をより一層はぐくんでいくとともに、まちづくりの主体として、身近なところから市政運営に参画し、協働によるまちづくりを進めていくことが何より必要となります。	そのためには、私たち一人ひとりが、人と郷土を愛する心をより一層はぐくんでいくとともに、まちづくりの主体として、身近なところから市政運営に参画し、協働によるまちづくりを進めていくことが何より必要となります。	C. 提言書(素案)のとおりとする。 （現在の表現で十分であると考える。）
				共産党議員団	・ 3行目の「少子化・高齢化の」は、「少子高齢化の」の方がいい。	私たちは、今ここに、自治の主体としての権利と責務を改めて認識し、自主自立のまちづくりに取り組むことを決意して、自治の最高規範となるこの条例を制定します。	私たちは、今ここに、自治の主体としての権利と責務を改めて認識し、自主自立のまちづくりに取り組むことを決意して、自治の最高規範となるこの条例を制定します。	C. 提言書(素案)のとおりとする。 （少子化と高齢化は別の事象であり、分けて記載した方がよいと考える。）
				市政会議	・ 3行目の「私たちに～考える契機」は「私たちに～考えさせる契機」ではないか。			A. 提案のとおり、修正する。 （「考えさせる」の方が適切と考える。）
				市政会議	・ 14行目の「何より必要」は「何よりも必要」の方がいい。			A. 提案のとおり、修正する。 （「何よりも」の方が、声を出して読んだ時に必要性が強く感じられる。）
				市政会議	・ 16行目の「取り組むことを決意して、」のあとに「新しい自治体の設立を宣言するとともに」を加える。この条例制定は新しい真の自治体に脱皮するという歴史的意義があり、この前文において市民が自ら宣言することが重要だと考える。			C. 考え方が異なるので修正しない。 （本条例の制定の主旨は、これまでの取組を尊重した上で、自治の主体としての権利と責務を「改めて」認識し、自治を一層推進していくことにあると考える。）

※市議会からの意見に対する考え方（資料1及び資料2） … A：提案のとおり修正 B：提案の主旨を踏まえ修正 C：提言書（素案）のとおり D：提言書（素案）を精査し再整理